

病害虫防除技術情報第10号

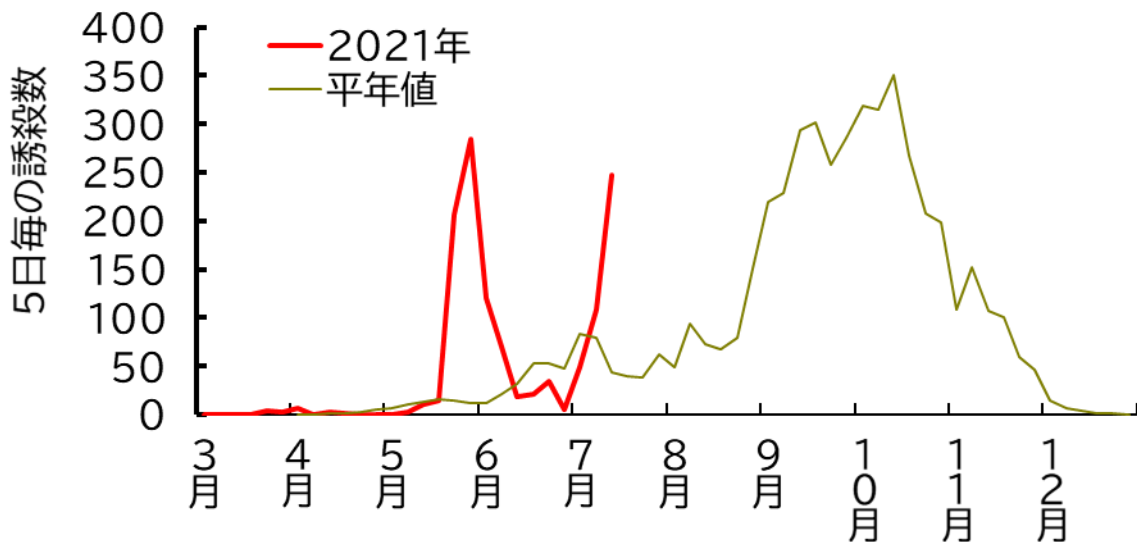
令和3年7月21日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています

1. 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、サトイモ、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名： ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第3半旬で247頭（平年43.0頭）と平年のおよそ5.7倍と多い状況です（図）。

1か月予報（7月15日・名古屋地方気象台発表）によると、気温は平年並の予想です。このため、ハスモンヨトウの発生に好適条件であると考えられます。



(図) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4. 防除対策

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- (4) ダイズでは圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類では育苗期に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (6) 花き類では生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め登録のある農薬で防除してください。
- (7) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。



(写真)ハスモンヨトウ幼虫

(<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。